

養生広場スタートへの思い

一人一人の身体への意識が変わる景色

2025年、国民医療費48兆円、
前年から1兆円増加、

救急医療、診断技術、外科技術に新薬、
これだけ恵まれた医療環境にあるにも関
わらず、周りを見渡せば、世の中、病に
溢れかえっています。

それは、国民皆保険はじめ日本の医療
制度に問題があるのではなく、

「人が安易に、医療に依存すること」にこそ起因するのではないのでしょうか、

言うまでもなく、医療も薬も要る人も、要る時もあります。

ただ、不要な人がいつまでも頼り続け、ひいては保険制度が破綻し、本当に必要とする人たちが医療を受けにくい景色になってしまうのではないかと杞憂しているのです。

本来、「**医術を施す側の力**」そして、**「医療を受ける側の身体力**」、
病の克服とは、
双方が、互いに協力してこそ、はじめて成しえる結果であり、病む人は言うまで

もなく、圧倒的多数の未病の人々まで、
なっても治りやすい「真の予防」を目指せば、医療費削減も現実のものとなるに
違いないのです。

科学技術の進化の恩恵を享受する現代、
たとえ、如何なる素晴らしい医療を受け
ようとも、

それよりはるかに長い時間を過ごす毎日の暮らし方の中、浅い呼吸からの酸素不足、崩れた姿勢からの血流の滞りなど、
身体に負担を掛け続けることの繰り返し、

それら、病の原因を常に積み重ねる行為が、治癒への効果に繋がるのかを考えてみれば、身体が本来の状態に戻る力を自ら妨げてはないでしょうか、

常に身体からの声を聞き、身体の力を引き出す暮らし方、

生きる力を養う「養生」の基本に戻ることが肝要であり、身体へ応援をしてこそ、不測の折、心の余裕も生まれ、そのことが当然のように復活の力をも後押しをするのです。

この養生広場に触れた人たちが、心豊かに幸せに生きるヒントとして身体への意識を変え、自ら真の健康を目指し、日本中がイキイキ生きるエネルギーで満たされたら、必ずや日本の医療費問題への大きな一石になると信じてやまないのです。

<https://www.mixs.jp>